

香川県 高校入試情報

令和7年度香川県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 例年どおり、大問数は5問で小問数は23問。
- 大問1は数式の基本問題、大問2は三平方の定理を含む図形の問題、大問3は比例、確率、箱ひげ図、関数、大問4はかけ算の表についての規則性の問題、両替機を題材とした連立方程式の利用、大問5は三角形の相似、合同の2問の証明問題であった。
- 答えを求める過程、全文記述式の証明問題が2題というように記述量が多いので、時間配分を考えて解き進めていく必要がある。過去問でパターンに慣れておこう。

★香川県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ きまりをもとに考える問題の出題

・きまりをもとに考える問題がよく出題されている。問題文をしっかり読みこなし、そのきまりに従って解く力をつけておく必要がある。

新研究で対策！

- 「ルールをおさえよう！きまりをもとに考える問題」(p.178～179)で入試のポイントをおさえ、集中強化することができます。

■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 合同の証明」(p.82～83)、「フォロー特集 マチガイから学ぶ！答案の書き方のコツ～図形の証明～」(p.96～97)で、証明のポイントや、証明の書き方のコツを詳しく解説しています。
また、「共通部分を見つけよう！合同と相似の証明」(p.182～183)で、集中強化できます。

基本的な内容も多いので、そこで確実に得点できるよう、基本問題をくり返し練習しておこう。



★香川県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式	●		●	●
	方程式	●	●	●	
	比例と反比例		●		●
	平面図形				●
	空間図形	●	●	●	●
	データの分析と活用	●		●	●
	2年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式	●	●	●	●
	1次関数	●			
	図形の調べ方	●	●	●	●
	三角形	●	●	●	●
	平行四辺形	●		●	●
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図		●	●	●
	3年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●
	円の性質	●	●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査				
出題形式別の傾向	大問数	5	5	5	5
	小問数	23	23	23	23
	記述問題	図形の証明(説明)	2	2	2
		その他の説明・証明など		1	
		立式・解法の過程の記述	2	2	1
		作図(図形)			2
	作図(グラフ)				

★新研究で出題した香川県の入試問題(令和7年度)

p.19大問3(2),p.115大問2(1),p.119大問2(2),p.147大問5,p.151大問1